

# 第36回東海高等学校バスケットボール新人大会

男子1回戦

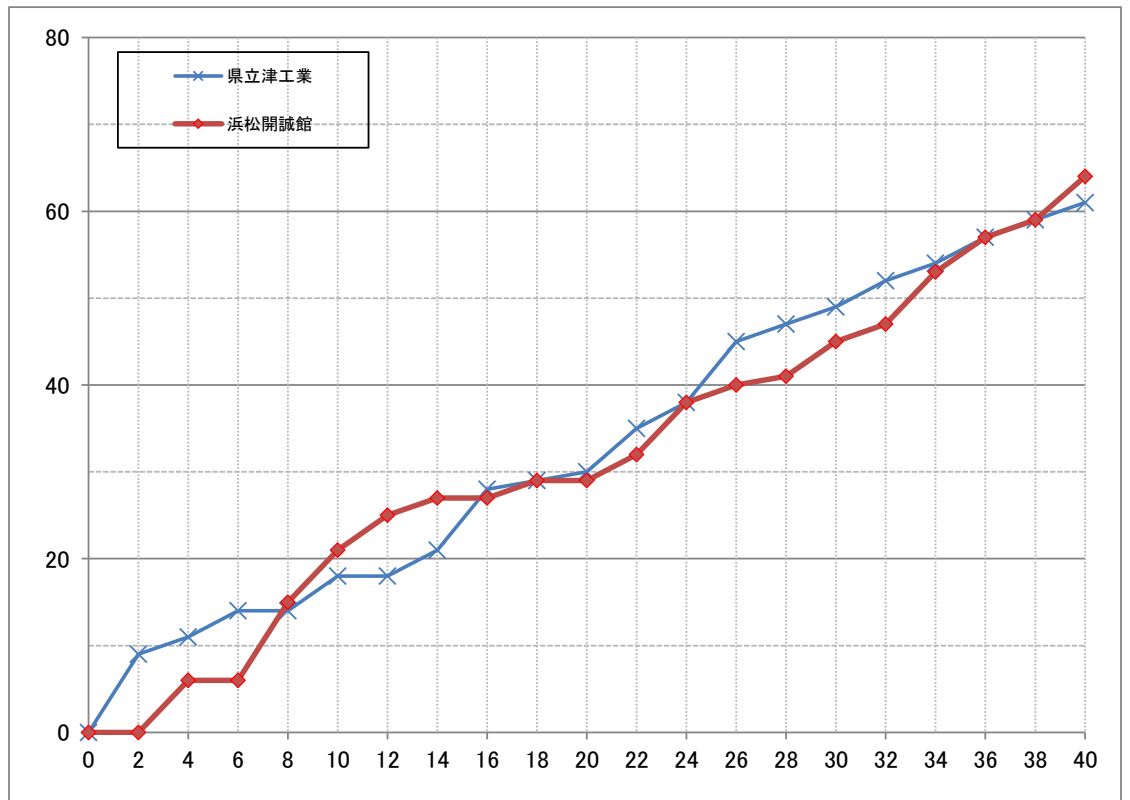
試合日 2023年2月11日  
会場 エコパアリーナ  
コート Bコート  
開始時間 12:50

TEAM A		TEAM B
県立津工業 (三重)	61	64 浜松開誠館 (静岡)
18	-	21
12	-	8
19	-	16
12	-	19
	OT	

## TEAM A 県立津工業 (三重)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	小川友誠	29	6	5	1	3
10		服部有迅	8	2	1	0	1
11	*	岸本惠翔	4	0	1	2	1
13	DNP	川原林 アンジロ	0	0	0	0	0
20	DNP	上村大心	0	0	0	0	0
23		後藤優星	0	0	0	0	1
24	*	庄司 拓 徒	5	0	2	1	0
30		稲葉 禪	3	0	1	1	5
31	DNP	玉野 亮	0	0	0	0	0
32	DNP	濱口 蒼 太朗	0	0	0	0	0
40	*	山口 颯 太	7	0	2	3	4
50	*	押田 泰 輝	5	0	2	1	2
60	DNP	間宮 大 暁	0	0	0	0	0
77		伊藤 莉 玖	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			61	8	14	9	17

## 【 得点経過 】



## TEAM B 浜松開誠館 (静岡)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	山下 朔 史	11	1	3	2	2
5	*	川 島 純	6	0	2	2	3
6		半場 太 刀	4	0	2	0	1
7		木村 郁 斗	0	0	0	0	1
8	*	萩田 凌 平	15	1	6	0	3
9	*	廿日 岩 仁	4	0	1	2	3
10		小野 寺 裕 之	2	0	1	0	0
11		伊藤 萌 斗	2	0	0	2	1
12	DNP	渥美 日 彩	0	0	0	0	0
13	DNP	小 原 蓮	0	0	0	0	0
14	DNP	渡邊 虎 太郎	0	0	0	0	0
15	*	工藤 寧 朗	20	0	9	2	3
16	DNP	藤 原 柊	0	0	0	0	0
17	DNP	上野 莉 一	0	0	0	0	0
18	DNP	片岡 未 来 斗	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			64	2	24	10	17

## 【 戦 評 】

1Q  
三重県2位津工業と静岡県3位浜松開誠館の東海初戦。津工業#24庄司のバスケットカウントから試合が始まる。津工業はゾーンプレスから#4小川がスティールからブレイクへ繋げて加点し、9-0と好調な滑り出しを見せる。対する浜松開誠館はゴール下で粘りを見せていた#15工藤が#8萩田との呼吸を合わせたプレーで得点して流れをつかもうとする。#8萩田の4連続得点で勢いに乗った浜松開誠館は、14-15と逆転に成功する。ここでたまたま津工業が1Q残り2:05でTO。TO明け、津工業#10服部が3Pを決め切る。一進一退の攻防が続く中、18-21浜松開誠館のリードで1Q終了。

2Q  
リードを広げたい浜松開誠館は、ディフェンスの強度を上げて相手のターンオーバーを誘発し#4山下、#6半場が小気味よく加点する。津工業は2Qに入ってシュートが決まらず、3分間無得点の苦しい立ち上がりとなる。しかし、#4小川が2本連続の3P、#24庄司のポストアップから#30稲葉に合わせる連携でゴール下の得点を伸ばして28-27と再逆転する。その後は互いに決め手に欠ける重たい展開となり、30-29津工業リードで前半を終える。

3Q  
開始早々津工業#40山口が放ったシュートが落ちるも自らタップで沈め、立て続けに#4小川が3Pを決めてチームに勢いを与える。対する浜松開誠館は#4山下の3P、#15工藤のインサイドアタックでやり返して主導権を与えない。津工業#4小川の3P、浜松開誠館#8萩田のドライブなど、互いに果敢にゴールを狙いに行き、残り5:20で38-38の同点となったところで津工業がTO。TO明けに津工業#10服部が3Pを決めて勢いに乗るかと思われたが、浜松開誠館も執拗にペイントにアタックして均衡状態が続く。試合が動いたのは残り4:00。津工業のトラップディフェンスに浜松開誠館が捕まり、ターンオーバーが重なる。浜松開誠館はすかさずTOを請求して打開を図るも、オフェンスでリズムに乗り切れない。49-45津工業のリードで3Qが終了。

4Q  
津工業は再度トラップディフェンスで浜松開誠館を捕まえにかかる。浜松開誠館は3Qの反省を生かし、落ち着いてボールをフロントコートに進めて隙を見せない。互いにシュートが決まらないながらも、次第に試合のテンポが上がる中で、浜松開誠館#15工藤が攻守共に献身的な働きを見せる。浜松開誠館が54-53とじわじわ津工業の背中を捕らえつつある6:30、津工業がTO。しかし、TO後もこれといった動きが見られない中、浜松開誠館が津工業の一瞬の隙をついて逆転に成功する。一気に突き放しにかかりたい浜松開誠館だが、ここぞという場面でのターンオーバーによって腰折の体となる。互いにチャンスを探る展開の中、残り1:04津工業#30稲葉が痛恨のファウルアウト。再度津工業がTOを取ってチームを引き締める。しかし、浜松開誠館がきっちりフリースローを沈め、その後も慌てずに点差を守り切り、61-64で浜松開誠館が接戦を制した。